

令和4年度東京支部 総会のご案内

7月2日(土) 12:00
(受付:11時～)

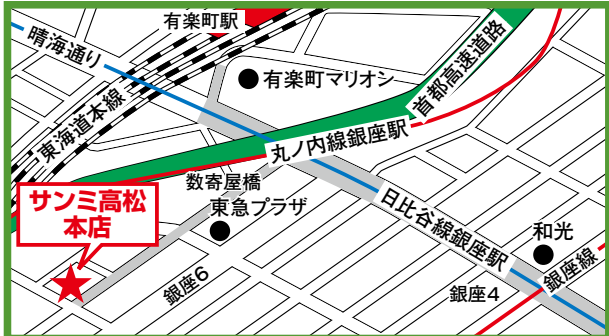
場所: サンミ高松本店
東京都中央区銀座6-3-9

会費: 男 性 8,000円
女 性 7,000円
29歳まで 7,000円
学 生 無 料

問い合わせ先電話 03-5568-3320
高松商事(株)内 紫雲会東京支部
事務局 漆原慎二

サンミ高松本店 案内地図

〔最寄駅〕銀座駅(丸ノ内線・銀座線・日比谷線) 東銀座駅(都営浅草線) JR有楽町駅



紫雲会東京

令和4年(2022年)

第16号

発行者 紫雲会東京支部長 北條 勇
印刷所 (有)ひまわり印刷

〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9 高松商事(株)内 紫雲会東京支部事務局 ☎03(5568)3320

コロナウイルスの今後の状況により紫雲会本部、東京、大阪支部の総会が変更になることもあります。

東京支部長挨拶

紫雲会東京支部長 S 39年卒 北條 勇



新型コロナウイルス変異株のオミクロン株がまん延拡大し、全国道府県郡のほとんどに適用されていたまん延防止等重点措置適用が3月に解除され、経済活動も徐々に動き出し、各種イベント開催も入場者制限を緩和していますが、感染者減少には繋がっていないのが現状です。

更には、あらゆる物価の高騰、ロシアのウクライナへの軍事侵攻関連の暗いニュースばかりです。

紫雲会行事も令和2年から殆ど出来ない状況で会員との交流も活動も無く皆さん巣ごもり状態で、ウンザリしていることと思います。

そうした中、常任理事会、役員会は書類により皆さんの意見を伺っております。

東京支部は7月2日(土)に3年振りの定期総会を予定していますが、新たな変異株も確認されており開催決定には至っておりません。

開催するには皆さんが安心して総会に出席して頂けるにはどうするか、総会委員会を中心に検討を進めて参ります。

今年は会場が変更になっています。会費納入のお願い!!皆様、会費のお振込を御願い致します。

母校からは明るいニュースが続いています。野球部は昨年夏の第103回全国高校野球選手権大会に出場して25年振りの勝利と4元号(大正、昭和、平成、令和)での勝利を達成してくれました。

また、昨年12月には関東地区で全国大会に吹奏楽部マーチングバンドが出場し銀賞、サッカー部は第100回全国高校選手権大会に出場、残念ながら初戦敗退でしたが、今年3月には卓球部、柔道部、バトミントン部が全国選抜大会に出場し、いずれもベスト16と活躍でしたが、コロナ禍の中無観客開催で我々は競技場で応援することは出来ませんでした。

唯一、サッカー大会だけは競技場で応援することが出来ました。

全国大会に出場の各部に対しては私と池田副支部長で支部を代表してお祝いと激励にそれぞれの宿舎に伺いました。

一日も早く、紫雲会活動を通じて会員の皆さんとお会い出来ることを願っておりますし、それまで皆さんが健康でお元気に過ごして頂けることを願っております。

オリンピック女子ハンドボール 2人の高商出身の出場壮行会



野球部 第103回全国高校野球選手権大会出場

※関連記事／別掲



バドミントン部

第50回全国高校選抜 バドミントン大会

※関連記事／別掲



柔道部 全国高校柔道選手権大会出場

※関連記事／別掲



卓球部

第49回全国高校 選抜卓球大会

※関連記事／別掲



サッカー部 4年ぶり24回目出場

※関連記事／別掲



吹奏楽部 第50回マーチングバンド全国大会 銀賞獲得

※関連記事／別掲



紫雲会東京支部 令和3年度 会計報告			
期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日 単位:円			
収入		支出	
前年度繰越	2,219,366		
役員年会費	350,000	総会案内発送費	200,618
一般年会費	610,000		
3年度分	394,000	事務消耗品・通信費	33,017
前年度分	216,000	旅費交通費	34,840
		慶弔	0
会報賛助金・広告費	406,000	振込負担金	52,262
賛助金	146,000	会議費補助	14,600
		役員会	
企業広告	260,000	常任理事会	10,000
@20,000X3社	60,000	年次幹事会	
@50,000X4社	200,000	各委員会	4,600
本部からの補助金	300,000	会報発行費15号紙	353,925
寄付金	40,000	ホームページ更新委託費	35,090
		90周年記念積立	100,000
		事務局費	50,000
		母校活動支援金	300,000
		四国新聞広告立替	66,000
		2年度ホームページ更新委託確定修正	-38,870
受取利息	9		
(当年度収入合計 1,706,009)		(当年度支出合計 1,201,482)	
		次年度繰越	2,723,893
計	3,925,375	計	3,925,375

* 役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の約半額と交通費の全額個人負担

* 常任理事会は2回開催、補助は1回のみ

* 各委員会の出席者は、会議費の約半額と交通費全額個人負担

令和3年度支部活動は、2年度に続いて新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりほとんどの計画が中止せざるを得ないことになりました。定期総会を10月に計画しましたが中止に、10月予定のゴルフ大会、10月予定の大阪支部総会、11月予定の高松での紫雲会総会も残念ながら中止となりました。

そのような中でしたが、会報は15号を発行し、会員の皆様と令和4年3月の卒業生全員に配布して支部活動や学校の状況をお知らせしました。関東近辺で行われる高校生の全国大会には12月のサッカー選手権大会は人数制限の中応援することができました。

12月のマーチングバンド全国大会

令和3年度

東京支部活動報告

3月の卓球、柔道、バドミントンの大会も無観客、夏の甲子園大会は野球部員と家族中心の入場制限の為球場での応援にも行くことができませんでした。

また11月に予定されていた東京香川県人会も中止となりました。

「聖火ランナー体験して思うこと」

S 39年卒 桑島恵美子



「聖火ランナー決定」の通知を受けた瞬間の喜びを、今も忘れるこ



とができません。オリンピック組織委員会へのランナー応募から半年、一縷の望みを持っていたの決定通知でした。しかし、その興奮もつかの間、突然のコロナパンデミックが世界を襲い、私たちがかつて経験したことがない状況となりました。そして、生活や考え方を一変する事態となりました。そのような中、オリパラの開催に対する意見も「中止」「開催」の2極化が進み、最終的には「オリンピック」1年延期という結果となりました。複雑な気持ちの中での1年半でしたが、私にとっては逆に「スポーツ」に向き合える貴重な時間を与えられました。私は、これ迄様々なジャンルのスポーツを経験し、観戦し、応援し、支援し、指導もしてきました。その中で、スポーツに生かされ・励まされ・友達を得・健康を保持し・何より楽しい生活が保たれていることを思い起こしました。私の人生の中にスポーツは切り離せない存在であることを再認識しました。

トーチキスでは、緊急事態宣言下、開会式当日に都庁前での聖火セレモニーのみでしたが、思いかげずトキメキの時間となりました。私は2番目の聖火ランナーとして、元メダリストの三井さんから聖火を受け取り、JOC会長の山下さんに渡すという役割となったのです。

遠くギリシャから来た聖火が、日本各地を回り、この瞬間自分の手元にある。そしてその火はスポーツを愛するすべての人々の心に繋がっていると思いはせることができました。これからもスポーツに生かされると思っています。



桑島さんからトーチに点火を受ける山下会長



三井さんからの聖火リレー



私は幼稚園から中学までは水泳をやっていた高校生活になってから陸上を始めました。2年までは水泳部と陸上部を兼部し3年になってから陸上に専念、3年生の総体まで中距離をメインとして頑張っていました。そして総体の後、都道府県駅伝出場を目指すことに決めました。目標に向かって練習した結果夢がかなない駅伝代表に選ばれることができました。

担当することになった5区は上り坂が多く少し不安でしたが、走り出すと楽しく走ることができました。苦しくなった時は、沿道でたくさんの方がかけてくれる応援の声や今までの練習を思い出して踏ん張りました。今までの1番楽しく、1番自分らしい走りができたと思います。みんなが繋いできてくれた襷には汗が染み込んでいて少し重たかったように感じました。6区の人に襷を繋いだ瞬間ほっとしたと同時に、大切な襷を次に繋げられたことがすごく嬉しかったです。

顧問の先生、家族、友達、ライバル、たくさんの人たちに支えられてここまで成長することができました。私1人ではこの駅伝に出場するという目標は達成できなかったと思います。目標を絶対達成できると信じて支えてくれたみんなにはとても感謝しています。またコロナ禍で大変な中たくさんの方たちのサポートによって、この駅伝を開催し

都大路を走って

感じたこと

陸上競技部 R 4年卒 池田歩乃佳



私は第40回全国都道府県対抗女子駅伝大会の香川県代表として5区を走らせていただきました。

オリンピック

女子ハンドボール代表に

高商出身の2人出場



いただいた感謝しています。この駅伝に出場して、改めてみんなの思いが込められた襷を繋いで走る駅伝は素晴らしいものだと感じました。私は駅伝が大好きです。そして今しかできないことを精一杯した時間は私の宝物です。

今回のオリンピック代表の『おりめジャパン』に母校出身の塩田沙代さん(平成19年卒)大山真奈さん(平成23年卒)の2人が出場しました。

6月28日に母校にてお二人を招いての壮行会が行われました。45年ぶりの出場となった日本チームは予選リーグで

- ①オランダ 21-32
- ②モンテネグロ 29-26で勝利
- ③韓国 24-27
- ④アンゴラ 25-28
- ⑤ノルウェー 25-37

1勝4敗となり決勝トーナメントへの進出はなりませんでしたが、当時お二人は北国銀行に在籍でしたが、大山選手は現在ハンガリーのチームに移籍して活躍中です。



紫雲会東京支部 令和4年度 予算			
期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位: 円			
収入		支出	
前年度繰越	2,723,893		
総会会費	775,000	総会費用	946,400
男@8,000X75名	600,000	料理 @5,500X120名	660,000
女@7,000X25名	175,000	飲料 @1,320X120名	158,400
お祝金	30,000		
		懇談軽食	15,000
		作品展示	60,000
		雑費	30,000
		表彰	23,000
役員年会費	347,000	総会案内 会報発送費返信はがき他	200,000
一般年会費	610,000	事務消耗品・通信費	75,000
		旅費交通費	175,000
会報賛助金・広告費	384,000	慶弔	40,000
賛助金 124,000		振込負担金	50,000
@5,000X17名	85,000	会議費補助	341,000
@3,000X13名	39,000		
		役員会	99,000
		常任理事会	44,000
企業広告	260,000	年次幹事会	120,000
@50,000X4社	200,000	各委員会	78,000
@20,000X3社	60,000		
		委員会補助金	55,000
本部補助金	300,000	年次幹事委員会同期会助成金	55,000
立替金入金予定	66,000	会報発行費16号紙	435,600
		ホームページ更新委託費	70,000
		事務局費	50,000
		90周年記念積立	100,000
		母校活動支援	200,000
		予備費	100,000
当年収入合計	(2,512,000)	当年支出合計	(2,838,000)
		次年度繰越	2,397,893
計	5,235,893		5,235,893

* 役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の半額程度と交通費の全額個人負担

* 常任理事会は2回開催、補助は1回

* 各委員会の出席者は、会議費の約半額と交通費全額個人負担

2. 場所

サンミ高松本店

1. 日時

令和4年7月2日(土)
12時～16時
(受付は11時～ お早目にお越しください)

3. 交通

東京都中央区銀座6-3-9
電話 03-5568-3320
東京メトロ「銀座駅」徒歩2分、JR「新橋駅」徒歩7分

4. 会費

1面参照

5. 次第

開会、校歌斉唱、挨拶、報告、審議・役員人事、乾杯、懇談、万歳三唱、閉会
(若干の変更はあります)

6. お問い合わせ

「総会出欠ハガキ」を送付いたしますので、締切日までにご投函下さるようお願い申し上げます。

実行委員会が満を持して『サンミ高松本店』にて皆様をお待ちしておりますので多くのご出席をお願い致します。

令和4年度

東京支部定期総会のご案内

令和4年度

支部活動計画

本年度は次の活動計画を推進いたします。

1. 組織

① 役員人事 (敬称略) (新任)

副支部長候補 (1名)
S 54年卒 堀 真英

常任理事候補 (1名)
S 56年卒 須田 賢二

理事候補 (5名)
S 54年卒 成田 親王
S 54年卒 丸尾 恭久
S 54年卒 山地 敏弘
S 49年卒 稲田 静夫
S 63年卒 小林 未千

(退任)
常任理事 (5名)
S 33年卒 中西 勲
S 33年卒 吉川 俊夫
S 36年卒 吉田 勝昭
S 55年卒 岡田久美子
H 2年卒 岩本真由美

理事 (4名)
S 27年卒 三浦 秀典
S 36年卒 宮武 貞雄
S 36年卒 黒川 達夫
S 39年卒 鈴木 康
S 62年卒 池田 明生

② 会議

総会 1回/年 開催 7月2日(土)

役員会 1回/年 開催 3月

表彰委員会 1回/年 開催 3月

常任理事会 2回/年 開催 11月・3月

年次幹事会 1回/年 開催 5月

8 委員会
(総会 親睦交流 表彰検討 会報
総務 年次幹事 ホームページ

紫雲オリーブ会 随時/年開催

2. 親睦・交流事業

① ゴルフ大会 下記参照

② 紫雲オリーブ会
今年度はコロナの状況にて計画

③ 母校部活で東京近郊大会時の応援

④ 東京 香川県人会 定期総会 11/13 (日) 開催

3. 広報活動

① 広報紙「紫雲会東京」16号を発行情報発信

4. カルチャー活動

① 会員作品展の開催

② 会報「投稿コーナー」

③ 表彰対象者の募集

5. 紫雲会
(本部) (大阪支部) 及び学校との連携。

紫雲会本部総会
9月23日(祝)

大阪支部70周年記念総会
6月11日(土)

第17回

ゴルフ大会のご案内

親睦・交流委員長 S 39年卒 大森 正

楽しみにしていたゴルフ大会や紫雲会総会など毎年当たり前に開催されていた行事がコロナ騒動で2年間にわたり全て中止となりました。3年振りである今年こそはの意気込みで令和4年度「第15回紫雲会東京支部ゴルフ大会」を下記の通り開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。女性のご参加大歓迎です。若手会員のみなさまもこぞでてご参加ください。

1. 日時
令和4年10月5日(水)
集合9時
(スタート アウト9時27分/7組)

オリンピック女子ハンドボール
2人の高商出身の出場

2. 会場

CPG カントリークラブ
千葉県市原市川在974
TEL 0436-36-1251
クラブバス
JR五井駅東口 8時30分
(バス利用は事前予約が必要ですよ)

3. 会費
16,000円
(プレー費、食事、パーティ、賞品代含む)

4. 申し込み先
幹事 大森 正
TEL・FAX 043-273-2662

5. 締切
令和4年9月10日(土)

* なお、コロナ騒動が改善しない場合は8月末日までに開催可否のお知らせを
紫雲会東京支部のホームページにて、ご案内申し上げます

ゴールは決めさせない!!
懸命にカバーする塩田紗代選手

豪快にゴールを決める大山真奈選手
すばらしい!!

2人の壮行会に
花添える書道部

大山選手

塩田選手

皆さま、これからも応援よろしくお祈いします!!

お待たせしました。準備、整いました

世界一の意識改革
『イチローさんの教え』
高松商業野球部主将 浅野翔吾



あこがれのイチローさんと出会って、チームとしても個人的にも意識が大きく変わりました。特に基本のキャッチボールです。イチローさんの教えは、近い距離でも常に強いボールを投げる。そして捕球したらすぐに握りかえてすぐに送球・投球する。これが試合に生きてくると論じてくれました。それからは黙々と真剣なキャッチボールが始まりました。毎日の当り前のことが大切であることに気づき、意識の高いキャッチボールがスタートしました。

もう一つ、チームに教えていただいたのは走塁です。イチローさんが今日までに築き上げてきたリード、打球の判断など、世界のイチローの極意を知ることができました。この教えが、バタバタしていた僕たちの走塁が落ち着いた冷静な走塁へと変わっていききました。イチローさんも「とても落ちつきが出て、全く違うチームになった」と言ってくれました。去年、智辯和歌山はイチローさんの指導を受け、日本一になりました。次は、僕たちが日本一になります。イチローさんもずっと見てくれているから…。

卓球部（女子個人戦）
選抜大会 ベスト 16

3 月 25 日から宇都宮市で開催された第 50 回高校選抜バドミントン選手権大会において団体戦で女子チームは 2 回戦で米子北に 3-2 で勝利。3 回戦に進出（ベスト 16）、西武台千葉と対戦しましたが 1-3 で敗退、惜しくもベスト 8 進出はなりませんでした。男子チームは初戦で比叡山と対戦しましたが、初戦突破はなりませんでした。女子個人戦のシングルス石川選手、ダブルスの豊口／石川ペアも初戦突破はなりませんでした。



卓球部監督と共に



サーブに集中する武下さん

103 回夏の甲子園大会

① 記念の勝利

103 回全国高校野球選手権大会に出場した母校高松商業は当初の 14 日の予定が、8 月 19 日に順延となり作新学院と対戦しました。

試合は 3 回裏に 3 点を先取し、5 回に 1 点を返されるもすぐに 3 点を取って 5 点差に突き放しますが相手も 6 回に 2 点、8 回に 3 点を取り同点となりました。しかし 8 回裏に一挙 4 点を奪い 9 回の反撃を 1 点に抑え 10-7 で見事に夏の甲子園大会 25 年ぶりの勝利をつかみました。

またこの勝利は、大正・昭和・平成・令和、の 4 元号での勝利となり今大会で達成した松商学園に続き史上 2 校目の快挙でした。

さらに高松商業としては春（37 勝）夏（23 勝）併せて 60 勝目という記念の勝利でした。

② 粘りもあと一歩

24 日の 3 回戦では優勝候補の一角智辯和歌山と対戦しました。

さらに入場制限があり吹奏楽部も入場できずテープで応援することになりました。

相手に先行される展開から 6 回に浅野選手のホームランで反撃に転じ、9 回には 3-5 まで追い上げましたがあと一歩及ばず。51 年ぶりのベスト 8 進出はなりませんでした。



野球部 熱戦、応援風景



大会当日、まずは入場行進から



会場への挨拶、有難う御座いました



令和で初めて校歌が歌えました



浅野選手、快心の一発。本人も嬉しそうです



応援団への挨拶へ



大正・昭和・平成・令和の 4 元号勝利を記念してのボールが作られました



このピンチを乗り切るには…

4 年ぶり 24 回目 全国高校 サッカー 選手権 大会 出場

サッカー部監督 川原寅之亮



記念すべき第 100 回全国高等学校サッカー選手権大会が、新国立競技場で開催され

本校は 4 年ぶり 24 回目の出場を果たしました。

試合は、12 月 31 日埼玉県 NACK 5 スタジアムにて鹿島学園高校（茨城県）と対戦しました。選手はキックオフから雰囲気吞まれることなく堂々とした立ち上がりでした。しかし、前半終了間際に失点を許すと、後半立ち上がりにも、追加点を奪われて苦しい展開となりました。選手は最後まで諦めずに戦いましたが、全国との差を感じた試合でした。

全国高校柔道選手権 大会 出場

柔道部顧問 大高直土



令和 4 年 3 月 20、21 日に全国高校柔道選手権大会

が日本武道館で開催され、本校からは男女団体、男子個人 5 名、女子個人 2 名が出場を果たしました。今大会も昨年に引き続いて無観客での開催で、陰性証明書や健康調査票の提出など、厳しい感染対策の下で行われました。そのような中で、11 名のエントリー選手全員が無事に日本武道館の畳の上に立てたことが本当に良かったと思います。結果は、男女団体ともに 3 回戦

このチームのテーマは「誠心誠意」コロナの影響で練習や遠征が制限される中、選手たちは自分と向き合う時間が長く続きました。県予選では、初戦を延長戦で勝利し、その後も PK 戦を勝ち抜くなど苦しい試合展開をチーム全員で乗り越えて優勝を掴み取りました。主将の佐藤海七多は試合後に、「優勝は、全員で勝ち取った勝利であり、選手の力だけではない。スタンドや TV で応援してくれた人。陰で支えてくれた全ての方々のお陰で優勝できた」と述べました。大会を通して人間としても大きく成長することができたと感じました。

柴雲会東京支部の皆様には、会場にたくさんの方が足を運んでいただき、スタンドを黄色に染め上げ、熱い声援を送っていただいたことに心より感謝申し上げます。これからも高松商業高校サッカー部として伝統を誇りに更に精進してまいります。今後ともご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

敗退（ベスト 16）、女子 52 kg 級に出場した高橋梨花においても 3 回戦敗退（ベスト 16）という例年以上の成績を残すことができました。特に男子団体では、2 回戦で東京都代表の足立学園高校に逆転で勝利することができました。出場選手全員の今大会に懸ける強い思いを感じることができ、夏に向けて大きな自信となりました。

大会期間中、支部長の北条様、副支部長の池田様には宿泊先まで激励に駆け付けていただき、本当に感謝しております。また、昨年度、紫雲会の皆様には温かいご支援を賜り本当に有難うございました。これからもより良い結果が報告できるよう日々努力して参りたいと思います。今後ともご支援、ご声援よろしく願います。

全国選抜大会 男女アベック 出場

バドミントン部顧問 H15 年卒 山本敏雄



3 月 24 日から栃木県宇都宮市にて開かれた全国選抜大会に、私たちバドミントン部は 3

年ぶりに男女で団体の部に出場しました。同じく男女で出場した平成 19 年度の大会では、「男女ともベスト 8」という伝統ある高商バドミントン部の歴史のなかでも、快挙と呼ぶにふさわしい成績を残しており、今大会も同じく「ベスト 8」以上という目標を掲げ臨みました。しかし、コロナ禍で練習は制限され、揃って再開できたのは大会一週間前であったことや、初戦の相手は全国大会 100 勝以上の実績を持つ強豪校であることを考

2 年振りの SSA

吹奏楽部顧問 香川聡士



8 月の定期演奏会終了後に 9 名の 3 年生が残り、総勢 42 名で 12 月に開催されたマーチン

グバンド全国大会に出場しました。前回のビデオ審査とは違い、今回は 2 年振りに SSA（さいたまスーパードリーナ）での開催となり、生徒たちの全国大会に出場できる喜びは例年以上だったように思います。しかしながら、入場券の一般販売はなく、紫雲会東京支部の皆様には、会場で私たちの演奏・演技を見ていただくことができなかったことは非常に残念でした。今回の作品は「AFRICA」を

えると、厳しい試合になることは覚悟していました。結果は 1-3 で初戦敗退となり、全国ベスト 8 の壁の高さを改めて痛感しました。しかし同時に、強豪校を相手に互角に戦える場面もあり、あと一歩のところでの勝利をものにできなかったという悔しさが残る価値ある大会となりました。この経験を機に自分たちの力をもう一度見直し、夏に向けてさらに成長していきたいと考えています。

最後になりましたが、お忙しい中、現地まで駆けつけくださった紫雲会東京支部北條支部長様や池田会報委員長様をはじめ、応援をしてくださった皆様方には大変感謝しております。ありがとうございました。



テーマとして、アフリカの広大で豊かな大地、美しい自然、独特の文化を表現しました。本番での生徒たちは緊張している様子でしたが、大きなミスもなく憧れの舞台で堂々と高商のマーチングを披露してくれました。結果は銀賞でしたが、これまでの練習の成果を存分に発揮してくれたと思います。1・2 年生には、あの大きな会場で大勢のお客様の前で自分たちのマーチングを披露できる喜びを忘れずに、次回も全国大会に出場できるように努力を重ねてもらいたいと思います。

最後になりましたが、大会前日にホテルまで激励に来ていただいた北條支部長様、池田副支部長様、本当にありがとうございます。今後とも心温かいご支援・ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

「挑戦」

バドミントン部女子顧問 三枝幸奈



一昨年より新型コロナウイルス感染拡大防止のため部活動時間や県外遠征等の制限が

かることが当たり前となり、その中で計画的且つ自主性を持って活動ができるか試される日々となりました。昨年は全大会が無観客ではありませんが、実施してもらうことができませんでした。そのような中、県総体では団体優勝、ダブルスで赤松（3 年）・豊口（2 年）が優勝、シングルスで豊口が優勝、石川（2 年）が準優勝し、三冠することができました。四国総体でも団体優勝、ダブルスで赤松・豊口が準優勝、シングルスで豊口が優勝、石川が準優勝し二冠を成し遂げました。全国総体の団体戦ではベスト 4 に入賞したチームにチャンスを掴みかけましたが敗戦し、個人戦も悔しい結果となつてしまいました。全国の厳しさを知るとともに何より自分たちにもチャンスがあると感じたため、新チームでは『全国大会ベスト 4』を掲げ、高商女子バドミントン部に新しい伝統を刻むことを目標にしています。昨年行われた県選抜大会では、団体で 4 年連続優勝、ダブルスで豊口・石川が優勝、シングルスで石川が優勝し三冠しました。四国予選会では、団体優勝、ダブルス準優勝、シングルス優勝をすることができました。勝負の場である全国選抜大会では厳しい練習環境ではありましたが、必死に自分たちの目標達成のため戦つてきました。結果、団体ベスト 16 と目標に及びませんでした。夏に向けての新しい課題を発見することができました。これからも、常勝高商の名に恥じぬよう、そしてより良い結果が報

新たな歴史のスタート

野球部監督 長尾健司



甲子園球場に流れる校歌。強豪、作新学院に勝利した瞬間、そこにアルプス席からの

校歌は響いてきませんでした。コロナによる無観客での試合でしたが、多くの高商応援団の力は、背中に感じながら選手は最後まで戦い続けたと思います。香川県大会からの奇跡は、ベンチとスタンドが一体となつて起こしたものです。そして、その声援が選手たちの「あきらめない心」を育ててくれました。多くの応援をはじめ、すべての関係者の力で勝ち取った大正・昭和・平成・令和の 4 元号勝利。そして、高松商業甲子園通算 60 勝。節目の舞台に立てたことに感謝するとともに、次は大声援の中で校歌を大合唱して感動とともに味わいましょう。新たな歴史を刻むべく課題を克服し、さらに進化して甲子園に帰ってきます。今後ともご指導、ご声援よろしく願います。



紫雲会会長挨拶

紫雲会会長 S 43 年卒 岡 義博



紫雲会東京支部の皆様には日頃から大変お世話になっており、改めてお礼申し上げます。

令和 2 年の年初から始まったコロナ禍で、日本中、世界中が停滞しています。本部の総会も東京支部の総会も、この 2 年間開催出来ませんでした。皆様とお会いし、親交を深める機会が失われた事を残念に思っています。今年こそは総会を開き皆様と交流が出来る事を願っています。

母校においては、本年 3 月に北体育館が新築落成しました。中を拝見させて頂きましたが、ハンドボールのコートが一面とれる広さがあり

紫雲会大阪支部長挨拶

紫雲会大阪支部長 S 40 年卒 北畠昭二



東京支部の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

東京支部におかれましては、一昨年からコロナウィルスの感染が収まらず紫雲会活動も支部総会を始めほとんどの行事が中止となり、令和 2 年から今に至るまでこの 2 年間は自粛の日々であつたかと思ひます。

母校高松商業が出場した昨年夏の甲子園大会では、コロナ感染防止のため球場での応援が叶わず、やむを得ずテレビでの応援となりましたが、選手たちの活躍で私たちに大きな感動を与えてくれました。今年は甲子園出場、そして紫雲会挙げての応援ができますこ

ます。天井が高く広く感じます。ただ、観客席はありません。旧体育館の外壁に設置されていたモニユメント（昭和四四年卒業生が寄贈）は新体育館の中に移設されました。長年の汚れを落としてリニューアルされました。

県が建ててくれたのは、建物だけで、備品は何もありません。備品については、120 周年の寄付金で整備したいと思っています。改めて、皆様のご厚意に感謝申し上げます。

また、新体育館の西側（正門を入つてすぐ右手）に庭があり、野球部の栄光を称える石碑などが沢山ありましたが、この庭もきれいに整備され、石碑などが見やすいように設置されています。母校に立ち寄られた折には、是非こちらもご覧頂きたいと思っています。

最後になりましたが、東京支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

とを願っています。

ところで、大阪支部が一昨年 6 月に予定していました大阪支部創立 70 周年記念総会もコロナ禍のため数回にわたリ延期となつていましたが、本年 6 月 11 日に心斎橋の大成閣で開催することになりました。東京支部の会員の皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

また、紫雲会活動も組織の高齢化とともに女性会員の比率が増加しており、そのような時代の流れに合わせた組織の若返り、女性会員の積極的な登用を図っていききたいと思っております。そして、東京支部と共に高松の本部を支える両輪として、これまで両支部の先輩諸氏が築かれた伝統と連携協調の和をより一層深めるべく、紫雲会活動に努めていきたいと思ひます。

最後になりましたが、紫雲会東京支部の今後の益々のご発展並びに会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

令和 3 年度総括

香川県立高松商業高校 校長 渡邊浩三



紫雲会東京支部の皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しご支援とご協力を賜り、誠に

ありがとうございます。

令和 3 年度は例年以上に本校の生徒をはじめ関係者が躍動した年であつたと感じています。主な出来事を箇条書きにしてみました。

7 月 東京オリンピックのハンドボール競技に卒業生の塩田沙代選手、大山真奈選手（共に北國銀行）が出場。

8 月 全国高校総体でヨット部が 4 種目で、剣道部女子が団体で初の 5 位入賞。珠算・電卓部が団体 2 種目で入賞。

8 月 夏の甲子園大会出場。初戦突破し 25 年ぶりの夏の校歌。

10 月 3 年森颯太さんが統計データコンペティションで統計数理賞受賞。

10 月 1 年谷本那津さんがジュニアオリンピックカップ走高跳で優勝。10 月 飯沼愛さん（3 年に在籍、当時休学中）が女優デビュー。

10 月 末包昇大選手（大阪ガス）が広島カープからドラフト 6 位指名。

12 月 イチローさんが野球部の指導のために来県。

12 月 高校サッカー選手権大会に 4 年ぶり 24 回目の出場。

今年度は全国高校総体（インターハイ）に男女各 11 の部で 74 名、文化部も夏に 7 つの部で 40 名が全国大会出場。マーチングバンドは冬に埼玉スパーアリーナでの全国大会に、春の全国選抜大会には 7 つの部が出場するなど、素晴らしい活躍を見せてくれました。

今年の夏には 24 年ぶりに四国でインターハイが開催されます。多く

の本校生徒が予選を勝ち抜き、インターハイに出場し活躍してくれることを期待しています。

また、建設中であつた新南体育館は 2 月末に完成しました。北体育館と同様に 1 階部分がピロティ、2 階からフロアとなつています。この体育館は正規のハンドボールコートが取れるよう設計されています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響が日々の学校生活に影響を及ぼしておりますが、早く生徒が安心して学校行事や部活動等に取り組むことができる日常が戻ってくれることを望んでやみません。

東京支部の皆様方におかれましては、関東方面での大会出場に際し激励にかけていただき感謝しております。これからも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたしまして、ごあいさついたします。

アジアマスターズ陸上大会で 3 種目制覇

S 38 年卒 宮本洋子



昨年 12 月 6 日（月）12 日（日）、マレーシアのクアランプールで行われた「第 16 回アジアマスターズ陸上競技選手権大会」で綾瀬 2 丁目在住の宮本洋子さん（66）歳以上のクラスで 100 M、80 M ハードル、300 M ハードルで見事に 1 位を獲得した。

今回、出場した 3 種目のうちハードル 2 種目で大会新を記録。この結果に「アジアでは日本が強いので、大会新記録は出ましたが、自分の持つアジア記録を塗り替えられなかったのが残念です。」と宮本さん。シーズン中は、全国各地の大会に月 1 回は参加して回っているという。陸上をやっている「スタートライン」に立てることが何よりも嬉し

い」と話す。それは「自分が健康でなければ立てない場所であり、そこに立つことが元気で長く生きられることだ」と考えているから。今日の我に明日は勝つ」をモットーに、今年の 7 月にアメリカで行われる世界大会まで元気に走り続ける。

最後に宮本さんは「マスターズは、どなたでも気軽に始められ、オリンピックのようにきつい練習をして競う大会ではありません。同年代の人と、自分の好きな競技に参加して楽しむ大会です。ぜひ、一緒に参加しましょう」と話す。

「アジア大会での宮本さんの結果」

▼100 M 16 秒 82（1 位）
▼80 M ハードル 17 秒 63（1 位、大会新）
▼300 M ハードル 1 分 07 秒 56（1 位、大会新）
※ちなみに宮本さんが持つアジア記録は 300 M ハードルの 1 分 02 秒 92



ハードルを飛ぶ宮本さん＝国立競技場で

今

ウクライナの走友は？と案じております。過去の世界マスターズで凌ぎを削った走友でもあり、気がかりです。心ない戦争に憤りを覚え、また、一日も早い平和の訪れをと念じております。これは十余年前のフィンランド大会のもので



お元気ですか？ウクライナの走友

令和 4 年度

会報賛助金提供者

（敬称略）

● 広告

溝渕 利幸（昭和 28 年卒）
安西 愈（昭和 32 年卒）
楠 昭次郎（昭和 35 年卒）
秋山 典久（昭和 52 年卒）
堀 眞英（昭和 54 年卒）

● 五千円

佃 昭幸（昭和 31 年卒）
谷本 清彦（昭和 32 年卒）
関 邦義（昭和 33 年卒）
山中 イツ子（昭和 34 年卒）
造田 貞男（昭和 36 年卒）
吉田 勝昭（昭和 36 年卒）
斎藤 昭（昭和 36 年卒）
北條 勇（昭和 39 年卒）
池田 政廣（昭和 39 年卒）
入谷 稔（昭和 39 年卒）
大森 正（昭和 39 年卒）
鈴木 伸二（昭和 40 年卒）
西木 茂雄（昭和 41 年卒）
串田 裕司（昭和 46 年卒）
滝 健一（昭和 50 年卒）
萬納 宏俊（昭和 51 年卒）
福光 徹（昭和 56 年卒）

● 三千円

吉川 俊夫（昭和 33 年卒）
中西 勲（昭和 33 年卒）
香西 久信（昭和 39 年卒）
室井 三千代（昭和 42 年卒）
久保 文典（昭和 45 年卒）
岡本 えり子（昭和 46 年卒）
藤川 和信（昭和 46 年卒）
本多 市子（昭和 46 年卒）
尾崎 行雄（昭和 49 年卒）
塚本 初江（昭和 49 年卒）
福西 佐都美（昭和 51 年卒）
太田 郁治郎（昭和 56 年卒）
谷村 祥子（昭和 56 年卒）

「ご協力ありがとうございました。」

東京支部
俳壇・歌壇

川柳 俳句 短歌

・桜花 ひらと舞うかよ
S 33 年卒 吉川俊夫様

・会もなく 語らいもなく 春過ぎる
(白洲次郎邸前にて)

・かな文字の 音なき流れ 涼しけれ
(総会開催の期待を込めて)

・天麴羅の 苦みほのかな ふきのとう
錆びてなほ 深き音色の 鉄風鈴

・銃弾が デモに飛び交う 春の闇
馬齢とは 馬に失礼 風薫る

・私ならかう聞くだろうと 考えて
国会中継 眺めおりきり

・三十分 オペレーターを増員し
今日も見ているテレビ通販

・枯れるけど 散らないとゆう紫陽
花の生き方も またありかと思ふ

・幸せはまると相場が決まって
ミカン、どら焼き、ねこ、ゆきだるま

・S 37 年卒 若宮利夫様
日が昇り五十鈴の川にそそがれる
新たな年の光清しい

・尽日の先を払うや雪化粧
厚く積もりて雪掻きさせな

・おりてくる雪に向かい口ひろげ
五歳のころは眼が食べた

・おいコロナきみがこわくて遠出せず
筋肉は減り体重増える

・コロナ禍で墓参に帰れぬ二年半
先祖は待つてる線香の煙り

・高松で先祖の眠る墓前に
花と線香をたれか手向けて

・元教師 森 孝枝様
春愁や 肌に冷たき 首飾

・春を聞く 神苑の 空広し
春潮や 瀬戸内海の 島多き

・春潮を 渡りて故郷 近づきぬ
母在さぬ 庭に木木の芽 吹きをり

・遠蛙 聞きてなつかし 母の家
借命とふ 言葉の重し 春立つ日

S 33 年卒 関 邦義様

・これ見よに 競い咲きしぞ 老い桜
・今もなを 咲いてにおうる 老い桜
・咲き染めて 名残惜しむや 老い桜
・細枝に 今日も咲きしか 老い桜

五行歌

S 35 年卒 福家貴美様

・雪のかわりに
埃を被り

・家を守っている笠地藏
まだマスクが必要なかった頃の
笑みを湛えて

・高級な
食事をしているような
白鷺の
立ち居振舞い
青田のそよぎをテーブルに



サッカー部
第100回全国高校サッカー選手権大会
4年ぶり24回目の出場

12月31日、さいたま市のNACK
5スタジアム大宮で開催された初戦
(2回戦は茨城県代表の鹿島学園と
対戦しました。

コロナの影響で応援団には人数制
限(250名)と、事前登録という
制約がありましたが学校からは 渡
邊校長先生以下生徒の皆さん サッ
カー部家族の皆さんを中心に東京支
部と大阪支部、さらに愛知県からの
参加者で密にならないように席をあ
けて応援しました。

試合は何度かゴール前に攻め込み
ましたが、前半終了間際の40分と後
半開始早々の4分に失点し0-2で
3回戦進出はなりませんでした。

サッカー部 熱戦、応援風景



コロナ禍では応援ただ見守るだけ



いよいよキックオフ



皆さんの活躍をしっかりと見ていますよ!!



熱戦むなしく負けてしまった。無念!



試合前、相手チームとの顔合わせ



応援団への挨拶



ゴール前の競り合い



イザ! 出陣!!



柔道部男子の皆さん



柔道部女子の皆さん

柔道部 高校柔道選手権大会
男子・女子団体戦
女子個人戦も ベスト16

3月20日から東京の日本武道館で
開催された第44回全国高校柔道選手
権大会において団体戦は男子女子と
もベスト16に揃って進出しました。

また個人戦(体重別各5階級)で
男子5階級(60K細川選手・66K喜
多選手・73K松本選手・81K南原選
手・無差別児島選手)、女子2階級
(52K高橋選手・無差別真鍋選手)
に出場し、高橋選手がベスト16に、
喜多選手・松本選手・南原選手も2
回戦に進出しました。

(5面参照)

令和4年度

『表彰者のご紹介』

表彰検討委員長 S 39年卒 入谷 稔

「2022年度」の表彰予定者

吉川 俊夫 氏

吉川俊夫氏は、紫雲会東京の会報に長年に亘り、継続的に会報の「俳壇・花壇」に俳句と短歌を各数点ずつ投稿され会報に花を添えられて来られました。また、紫雲会の継続と発展に積極的に寄与され、紫雲会東京支部に多大な貢献をされています。

トピックス

1 吹奏楽部 マーチングバンド全国大会 銀賞受賞

12月12日、さいたまスーパーアリーナで開催された2年ぶりの大会で高商吹奏楽部は小編成（50人以下）の部で1昨年に続き、銀賞を受賞しました。（昨年度はビデオによる審査）



2 男子、女子バドミントン 50回選抜大会 3年ぶり 女子団体ベスト16

1 昨年までは四国地区の出場枠が2校でしたが今回は1校となり、全体的出場チームも減少する中での出場でした。

3月25日から宇都宮市で開催された第50回高校選抜バドミントン選手権大会において団体戦で女子チームは3回戦に進出、西武台千葉と対戦

昭和55年卒	藤田 恵子	昭和55年卒	藤田 恵子
55年卒	多田 稔	55年卒	佐々井 幸彦
55年卒	佐々井 幸彦	55年卒	岡 郁郎
56年卒	太田 郁郎	56年卒	須田 賢二
56年卒	須田 賢二	56年卒	福光 徹
56年卒	福光 徹	56年卒	賀野 耕治
56年卒	賀野 耕治	56年卒	二宮 佳邦
57年卒	山川 明俊	57年卒	香山 穂
57年卒	香山 穂	57年卒	大森 卓二
58年卒	三嶋 俊人	58年卒	小田 貴美子
58年卒	小田 貴美子	58年卒	川本 英樹
58年卒	川本 英樹	58年卒	網谷 竜一
58年卒	網谷 竜一	58年卒	鈴木 奈々子
58年卒	鈴木 奈々子	58年卒	北川 博道
58年卒	北川 博道	58年卒	足立 順子
58年卒	森 建太	58年卒	千葉 健志
59年卒	川浪 明美	59年卒	横田 悦朗
59年卒	横田 悦朗	59年卒	二川 正浩
59年卒	二川 正浩	59年卒	砂川 吾一
59年卒	砂川 吾一	59年卒	斎藤 淳子
60年卒	鈴木 総一	60年卒	多田 正伸
60年卒	多田 正伸	60年卒	三野 孝次
60年卒	三野 孝次	60年卒	高橋 直身
61年卒	清水 宏城	61年卒	池田 明生
62年卒	池田 明生	62年卒	岡野 高幸
62年卒	岡野 高幸	62年卒	友永 朋宏
62年卒	三島 美和	62年卒	田村 健一
62年卒	田村 健一	62年卒	香川 真志
63年卒	田中 孝史	63年卒	森 孝枝
元教師	居林 昌宏	1年卒	清家 由美子
1年卒	清家 由美子	1年卒	岩本 真由美
2年卒	和波 高代	2年卒	大高 将
2年卒	奥村 純子	2年卒	堤田 次郎
2年卒	松岡 利雄	3年卒	飯野 ひとみ
3年卒	飯野 ひとみ	3年卒	安藤 美保
3年卒	安藤 美保	4年卒	明石 尚二
4年卒	丹羽 恵美子	4年卒	金野 恵子
4年卒	金野 恵子	5年卒	島津 新介
5年卒	梅下 敏弘	6年卒	小川 健太
7年卒	村川 博光	11年卒	國方 貴子

令和2年分として入金済
15号紙掲載もれ
昭和44年卒 大山 一夫 様
お詫びして訂正いたします。

令和3年度 会費の納入者

昭和22年卒	松木 弘	昭和36年卒	造田 貞男	昭和40年卒	大谷 美恵子	昭和46年卒	渡辺 光哲
23年卒	重成 清示	36年卒	吉田 勝昭	40年卒	久保 美伸	47年卒	神内 博喜
27年卒	岩田 孝之	36年卒	斎藤 昭	40年卒	阿部 登	47年卒	細谷 夫佐子
28年卒	溝淵 利幸	36年卒	高島 武司	40年卒	高畑 寿世	48年卒	三村 圭介
28年卒	玉置 収	36年卒	黒川 達夫	40年卒	村尾 政輝	48年卒	中野 伸之
28年卒	小西 弘美	36年卒	川西 憲造	40年卒	太田 生市	48年卒	筒井 愛子
28年卒	幅多 盛隆	36年卒	太山 喜代一	40年卒	谷川 準一	48年卒	井上 正紀
29年卒	細谷 通世	36年卒	槌矢 弘道	40年卒	三木 義弘	48年卒	岡田 久美
29年卒	佃 耕休	36年卒	田所 幸子	40年卒	長尾 佑二	48年卒	溝淵 智子
29年卒	内海 昭夫	36年卒	杉本 伊佐子	40年卒	内海 富男	48年卒	斎藤 美智子
30年卒	熊田 鎧二	36年卒	末澤 晴代	40年卒	北浜 茂	49年卒	塚本 初江
30年卒	高重 晴夫	36年卒	坂東 教雄	40年卒	藤村 裕行	49年卒	尾崎 昌洋
30年卒	上原 毅	36年卒	長尾 一郎	40年卒	木村 裕行	49年卒	藤本 孝
30年卒	植松 建三	36年卒	鶴身 昭三郎	40年卒	飯塚 千鶴子	49年卒	井手 正博
30年卒	大川 俊男	36年卒	藤堂 光男	40年卒	一柳 栄子	49年卒	大野 裕
30年卒	長尾 三生	36年卒	木村 功	40年卒	鈴木 千代子	49年卒	小松 裕
31年卒	宇田 四郎	36年卒	福山 浩三	40年卒	退会連絡	49年卒	高橋 ひとみ
31年卒	佃 昭幸	36年卒	北川 寛	41年卒	西木 茂雄	49年卒	安弘 明郎
31年卒	岡田 親司	36年卒	尾崎 美智子	41年卒	岡田 義憲	49年卒	富山 正俊
31年卒	山田 二郎	36年卒	麓 淑子	41年卒	池田 和郎	49年卒	岩部 静夫
31年卒	松本 篤	36年卒	宮下 恵子	41年卒	古市 祥二	49年卒	稲田 美雅
31年卒	大山 義男	37年卒	加藤 勝利	41年卒	松岡 俊晴	49年卒	茨木 一郎
31年卒	長尾 利之	37年卒	碓井 茂美	42年卒	室井 三千代	49年卒	横山 崇
31年卒	矢野 武文	37年卒	塩谷 健一	42年卒	東 裕幸	49年卒	岸下 貞夫
31年卒	松下 雅子	37年卒	友典 登	42年卒	大北 博文	50年卒	滝 健一
31年卒	日原 朋子	37年卒	高谷 清司	42年卒	矢野 明子	50年卒	青木 恭弘
31年卒	福崎 恵美子	37年卒	鹿庭 洋美	42年卒	鎌野 恵美子	50年卒	木村 真澄
31年卒	寒川 光代	37年卒	鹿庭 利夫	42年卒	宮武 香代子	50年卒	平 洋子
31年卒	木場 博子	37年卒	小原 誠	42年卒	長谷 妙子	50年卒	鈴木(十河)弘幸
32年卒	安西 愈彰	37年卒	宮本 浩二	42年卒	野網 千代江	50年卒	木村 寿男
32年卒	谷本 清彦	37年卒	石塚 潤一	42年卒	安田 忠照	51年卒	萬納 博司
32年卒	佐々木 修	37年卒	大石 昌三	43年卒	岩井 康男	51年卒	福西 今雪
32年卒	高橋 正一	37年卒	大野 俊二	43年卒	藤木 幸一	51年卒	重田 充代
32年卒	松原 輝雄	37年卒	島原 邦彦	43年卒	加藤 晃	51年卒	三好 玲子
32年卒	山下 登志子	37年卒	藤沢 宏	43年卒	石田 安伸	51年卒	松川 和子
33年卒	関 邦義	37年卒	北野 建世	43年卒	菅野 博幸	51年卒	有馬 江利子
33年卒	中西 勲	37年卒	野口 保彦	43年卒	森 克己	51年卒	杉本 千春
33年卒	吉川 俊夫	37年卒	東 秀子	44年卒	門田 彰	51年卒	江川 文雄
33年卒	柴本 公夫	37年卒	三好 勝	44年卒	鈴木 一平	51年卒	永田 典久
33年卒	岩瀬 博	37年卒	石浜 文雄	44年卒	大山 文子	52年卒	秋山 昌彦
33年卒	小原 清	38年卒	宮本 賢一	44年卒	飯島 啓子	52年卒	樽谷 慎司
33年卒	植松 輝尚	38年卒	田中 森山	44年卒	石 秀徳	52年卒	橋川 俊二
33年卒	柴原 昇	38年卒	淀谷 皓一	45年卒	藤岡 文典	52年卒	吉田 典子
33年卒	小畑 和子	38年卒	神内 征子	45年卒	久保 佳民	52年卒	小野 亮三
33年卒	小林 紀子	38年卒	川井 方子	45年卒	佐達 敏昭	52年卒	中山 雅之
33年卒	八木 紀佐子	38年卒	榎本 信子	45年卒	正木 昌弘	52年卒	蓮井 正起
34年卒	山中 イツ子	38年卒	高木 由子	45年卒	二川 頼行	52年卒	帰来 美津子
34年卒	多田 正美	39年卒	北條 勇	45年卒	谷川 和雄	53年卒	竹内 義高
34年卒	石川 陽造	39年卒	池田 政廣	45年卒	松原 正敏	53年卒	行天 健樹
34年卒	岡田 紀弘	39年卒	入谷 稔	45年卒	佐々木 敬子	53年卒	藤岡 光男
34年卒	渡辺 君子	39年卒	大森 正	46年卒	藤川 和信	53年卒	谷畑 博和
34年卒	松岡 耕平	39年卒	松濱 明貴	46年卒	岡本 裕司	54年卒	小倉 真英
34年卒	福西 勝利	39年卒	香西 久信	46年卒	串田 市子	54年卒	堀 晋
35年卒	久保 祐三	39年卒	阿賀 孝	46年卒	本田 一博	54年卒	工 裕弘
35年卒	高島 輝雄	39年卒	加納 孝	46年卒	岡田 孝	54年卒	前田 厚美
35年卒	多田 修也	39年卒	北岡 恵美子	46年卒	大屋 裕一	54年卒	安達 親王
35年卒	増田 勝	39年卒	桑島 絹代	46年卒	森 治誠	54年卒	成田 一郎
35年卒	宮武 喬	39年卒	黒川 俊子	46年卒	松本 裕美	54年卒	上枝 仁志
35年卒	吉川 千恵子	39年卒	甲邊 百合子	46年卒	瀬尾 栄子	54年卒	松本 信康
35年卒	横塚 晁子	40年卒	野崎 伸二	46年卒	井筒 恵子	55年卒	北 慎二
35年卒	山上 貴美	40年卒	鈴木 正泰	46年卒	長尾 豊	55年卒	漆原 真澄

ご協力ありがとうございました。



女子ダブルス 手前が高商



バドミントン部女子の皆さん



バドミントン部男子の皆さん

しましたが1-3で敗退、惜しくもベスト8進出はなりませんでした。男子チームは初戦で比叡山と対戦しましたが、初戦突破はなりませんでした。女子個人戦のシングルス石川選手、ダブルスの豊口／石川ペアも初戦突破はなりませんでした。

事務局だより

物故者

昭和24年卒	小西 哲雄
昭和25年卒	小笠原 希朗
昭和29年卒	亀井 利治
昭和29年卒	横山 時博
昭和33年卒	田所 健一
昭和37年卒	地下 清
昭和38年卒	宮本 澄子
昭和41年卒	泉保 政博
昭和42年卒	中條 恒憲
昭和47年卒	井間 雅彦
昭和47年卒	謹んでお悔み申し上げます



男子ダブルス 向こう側が高商チーム



女子シングルス奥が豊口選手 身体を一杯に使って応戦しています

ふるさと情報@東京

香川県東京事務所長 多田 仁



紫雲会東京支部の北條支部長様をはじめ会員の皆様には、日頃から、郷土香川発展のために御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が確認されて二年余が経過。なお感染が続いていますが、感染拡大の防止と医療提供体制の確保を図りつつ、社会経済活動を維持・発展させていくことが重要となっています。

こうした中、今年度は、3年に一度の瀬戸内国際芸術祭2022が四月に開幕。対策を徹底し、瀬戸内の自然と一体となったアート作品やイベントを展開しています。少しでも皆様の癒しや元気に繋がれたいと願っております。また、来年度開催予定のサミット関係閣僚会合の誘致や、弘法大師空海御誕生1250年祭関連の誘客。さらには、本県への移住に関心を高めていただけるよう移住・定住の情報発信の強化やデジタル社会の推進、防災・減災対策等を進めてまいります。

東京事務所も、新橋のアンテナショップ「せとうち旬彩館」とともに、旬の情報発信や県産品の販売促進、移住相談、ふるさと納税等の活動を通じ、ゆかりの皆様のお力添えを頂戴しながら、香川の活性化につなげてまいりたいと考えております。

永田町や新橋など、お近くにお越しの際は、気軽にお立ち寄りいただき、ふるさと香川に接していただければありがたく存じます。

終わりに、紫雲会東京支部の益々の御隆盛と、皆様の御健勝、御活躍をお祈りして、御挨拶いたします。



瀬戸内国際芸術祭 2022 ポスター

学校だより

香川県立高松商業高校紫雲会事務局
S 61年卒 谷畑祐二



東京支部の皆様方には、日頃より大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

昨年に引き続き、令和3年度も紫雲会理事・評議員会さらには紫雲会総会が中止、学校関係行事においても文化祭は2年続けての中止、昨年から延期になっていた3年生の修学旅行も結局は中止となりました。誠に残念ですがここは耐えるしかありません。

さて、令和2年秋より解体が始まった南体育館ですが、3月末に

やっと完成しました。以前、体育館の西外壁に設置されていた知徳体のモニュメントは研磨等で綺麗に磨き上げられ、新体育館の中に移設、新たな風貌を醸し出してくれています。諸先輩方におかれましては、香川に帰省された折には是非ご覧になっていただきたいと思っています。

さて、今年のインターハイは剣道部女子が団体で香川県勢初の5位入賞を果たしました。また、10月に行われた第15回U18陸上競技



お城の公園内では鯛に餌をやりながら船遊びができる

大会において、陸上部女子個人走り高跳びで谷本那津さんが1m68を跳び、見事全国優勝を成し遂げました。野球部の夏の県大会は逆転に次ぐ逆転劇で夏の甲子園25年ぶりの優勝を勝ち取りました。全国では作新学院に勝利し、続く3回戦では優勝した智弁和歌山に惜しくも敗れましたが、高松商業の強靱な粘りを見せつけた大会でした。文化部においても珠算電卓部が電卓の部団体5位、珠算の部団体10位と健闘し、吹奏楽部はマーチングバンド全国大会で銀賞を受賞するなど、その他多くの文化部も見事な成績を残しています。また、サッカー部は全国高校サッカー選手権大会に24回目の出場を果たしました。結果は1回戦で鹿島学園に敗れましたが、今後の活躍が期待されます。その他、柔道部・バドミントン部・女子ハンドボール部・卓球部女子が全国選抜大会に出場し、上位入賞はなりませんでしたがよく健闘しました。令和4年度の紫雲会行事もコロナ禍でどうなるか正直分かりませんが、実施の方向で進めて参りたいと思いますので、今後ともご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

以上、はなはだ簡単ではありますが、近況報告とさせていただきます。

世界の 4000 本以上の安打記録を持つ元メジャーリーガー
イチローさんが本校野球部を直接指導

元プロ野球選手
のイチローさん（オリックス・マリナーズ）が12月11、12日の両日、高松に来て本校野球部を指導して下さいました。

夏の甲子園大会で智辯和歌山戦の後、長尾監督の談話で前の年にイチローさんが智辯和歌山高校を指導されたことから『うちにもイチローさんに来て欲しい』という願いを話したところ、この話がイチローさんに伝わり今回の指導が実現することとなりました。

長尾監督からは『これは日頃頑張っている君達へのクリスマスプレゼント。吸



収できるものはすべて吸収するように』と選手に伝える。

指導はキャッチボール・走塁・打撃・守備とすべてにわたり、質問者が列を作り、熱心に質問し、貴重なアドバイスを真剣に聞き漏らさないようにメモを取っていました。

練習後イチローさんから、今回使ったバットをプレゼントされ、『このバットがいつも見ているからね』というコメントを残し、離高松。

終了後、イチローさんへの恩返しはこの貴重な経験を糧にして『甲子園での優勝』と全員が誓い合いました。

東京香川県人会第104回定期総会のご案内

今年も「東京香川県人会総会」を盛大に開催する予定ですが、コロナ禍の中で開催できるかの検討を進めておりますが決まっております。従いまして、開催決定次第皆様にお知らせいたします。

【予定】

開催日時 令和4年11月13日（日） 12時～

会場 東京プリンスホテル 2階「鳳凰の間」（港区芝公園3-3-1）

次 第 総会、懇親会、アトラクション、お楽しみ抽選会、さぬきうどんコーナーなどお楽しみ企画が盛りだくさんです。

* 全員に香川県産のお土産を用意しております。

参加費 8,000円（学生3,000円）

開催案内は9月中旬に送付する予定です。ホームページにも掲載します。
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/Tokyo/index.htm>

ご案内を希望される方は、東京香川県人会事務局へご連絡ください。
東京香川県人会にご入会いただくと、毎年ご案内を差し上げます。

【お問い合わせ先】 東京香川県人会事務局

電話 03・5212・9100



旧校舎



昔懐かしい木造2階建の校舎

写真で辿る故郷の
今昔 ① 母校



新校舎



大活躍した野球部のモニュメント



平成 27 年 明治神宮野球大会優勝を記念して



新校舎 生徒達が活躍した賞品や記念品の数々が飾られています



筋トレも出来るトレーニングルーム



選手達が待っていた雨天練習場

秋 税理士 山典久
大宮区土手町二一八六一
(昭和52年卒)
メール
na11jp@yahoo.co.jp

株式会社 全日警ビルサービス
代表取締役 堀 眞英
本社 〒109 0007 東京都中央区日本橋浜町一丁目一番12号
TEL 03-5561-1111
FAX 03-5561-1112
(昭和54年卒)



新装になった体育館。綺麗ですね



旧校舎の教室、こんなに古かったかな…

10部からつくれる<自主出版>
写真集や、あなたの“生きた証”を振り返り、
長く歩いて来た道や思いをつづる「自分史」。
廉価で綺麗に出来ると好評です。
〒162-0814 東京都新宿区新小川町4-17 クスノキビル
(有) ひまわり印刷 ☎(03) 3235-1488
e-mail: info@himawari.co.jp
楠 昭次郎 (昭和35年卒)



母校の広いグラウンド。懐かしい

北畠税理士事務所
税理士 北 畠 昭 二
(昭和40年卒)
事 務 所 大阪市北区南森町 2 丁目 2 番 2 号
南森町千代田ビル 9 階 A 号室
〒530-0054 電話 (06) 6131-7711 番
FAX (06) 6131-7712 番

岡義博法律事務所
弁護士 岡 義博
(昭和43年卒)
〒760-0033 香川県高松市丸の内7番20号
丸の内ファイブビル 5 階
TEL: 087-821-1300/FAX: 087-821-1833
mail: oka-law@kln.ne.jp

安西法律事務所
弁護士 安 西 愈
(昭和32年卒)
〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目4番地1号大倉別館3階
TEL 03-3563-3225~7
FAX 03-3561-2446

日本料理・イタリア料理・フランス料理
厳選素材を活かした四季折々の料理、お人数様に合わせた
洋風、和風の個室もご用意いたしております。
代表取締役会長 溝渕 利幸 (昭和28年卒)
銀座 Sun-mi 本店 〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9
TEL. 03-5568-3300 (総合受付)